

## 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製 品 名：男前モノタロウ ウレアグリースプレー

会 社 名：株式会社 MonotaRO

住 所：〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町 2-183 リベル 3 階

担当者名 商品お問合せ窓口

電話番号 0120-443-509

FAX 番号 0120-289-888

緊急連絡先 所在地と同じ

作 成 日：平成25年05月30日

改 訂 日：

整理番号：M160127

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 物理化学的危険性

可燃性／引火性エアゾール	区分 1
引火性液体	区分外

## 健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	区分外
急性毒性（吸入－ガス）	区分外
急性毒性（吸入－蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入－粉塵ミスト）	区分 4
皮膚腐食性／刺激性	区分外
眼に対する重要な損傷／刺激性	区分 2
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分 2
発がん性	区分外
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	区分 2（肺）
	区分 3（麻酔作用）
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	区分 1（肺）
吸引性呼吸器有害性	区分外

## 環境に対する有害性

水生環境有害性（急性）	分類できない
水生環境有害性（慢性）	分類できない

## GHSラベル要素

## 絵表示又はシンボル



注意喚起語

## 危険

ラベル表示物質：なし

危険有害性情報

- ・極めて可燃性／引火性の高いエアゾール
- ・吸入すると有害
- ・強い眼刺激
- ・遺伝性疾患のおそれの疑い
- ・臓器（肺）の障害のおそれ
- ・吸引により眠気やめまいのおそれ
- ・長期又は反復暴露による臓器（肺）の障害

### 3. 組成、成分情報

物質の特定 単一製品・混合物の区別：混合物（エアゾール製品）

成分情報及び含有量：

化学名		官報公示整理 番号 化審法	CAS No.	安衛法通知 対象物質	PRTR法 報告物質	含有量 質量%
内容液	潤滑油基油（鉱油）	非公開	非公開	該当	非該当	30～40
	増稠剤（ウレア）	非公開	非公開	非該当	非該当	10以下
	潤滑油添加剤	非公開	非公開	非該当	非該当	1以下
噴射剤	プロパン	非該当	74-98-6	非該当	非該当	5～15
	ブタン	非該当	75-28-5、106-97-8	該当	非該当	40～50

### 4. 応急処置

吸入した場合：新鮮な空気の場所に移す。体を毛布等でおおい、保温して安静を保ち、必要なら医師の手当てを受ける

皮膚に付着した場合：水と石鹼で付着した部分を洗う。外観に変化がみられたり、痛みが続く場合は、医師の診断を受ける。

目に入った場合：清浄な水で最低15分間目を洗浄した後、眼科医の手当を受ける。洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球、瞼のすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり取り除いて洗浄を続ける。

飲み込んだ場合：無理に吐かせないで、直ちに医師の手当を受ける。口の中が汚染されている場合には水で十分に洗う。

最も重要な徴候及び症状に関する簡潔な情報：現在のところ有用な情報なし。

応急措置をする者の保護：現在のところ有用な情報なし。

医師に対する特別注意事項：現在のところ有用な情報なし。

### 5. 火災時の措置

消火剤：粉末 炭酸ガス 泡 砂

特定の危険有害性：火災の現場にエアゾール容器があると破裂する恐れがある。

消火方法：消火活動には距離を十分にとること。

初期の火災には、粉末 炭酸ガス 泡 砂等の消火剤を用いる。

棒状水の使用は、火災を拡大して危険な場合がある。

大規模火災には泡消火剤を用いて空気を遮断する。

高温にさらされる製品容器に水をかけて冷却する。

消火を行う者の保護：消火作業は、自呼吸式呼吸器等の保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：風下の人を避難させ、漏出した場所の周囲に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)着用し、皮膚への付着や、蒸気の吸入に注意する。

環境に対する注意事項：付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

除去方法：着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

衝撃、静電気にて、火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

漏れ発生時(噴出時)には風上より処置を行うようにし、容器の露出部は上向きにし、完全にガスを噴出してから処置をする。

付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。

少量の場合：乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて、密閉できる容器に回収する。

大量の場合：盛土で囲い流出を防止し、安全な場所に導いてから回収する。この際、下水、側溝等に入り込まないように注意する。漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため下記の注意を守ること。

取扱い：火気と高温に注意。

炎や火気の近くで使用しないこと。

火気を使用している室内で大量に使用しないこと。

火の中に入れてないこと。

取り扱い換気のよい場所で行うこと。

換風をよくし、蒸気が滞留しないようにする。

密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具をつけて作業すること。

保管：高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や、火気等の近くなど温度が40℃以上となるとところに置かないこと。  
子供の手の届かないところに保管すること。

## 8. 暴露防止及び保護措置

成分		管理濃度 (ppm)	許容濃度 (ppm)	
			日本産業衛生学会	ACGIH
内容液		未設定	3 mg/m <sup>3</sup> (鉱油ミスト) (2006年度版)	TWA : 5 mg/m <sup>3</sup> (鉱油ミスト) (2004年度版)
噴射剤	ブタン	未設定	1000	1800 (mg/m <sup>3</sup> )
	プロパン	未設定	1000	1800 (mg/m <sup>3</sup> )

設備対策：屋内作業場での使用の場合は、発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。

取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸器の保護具：保護マスク。必要に応じて防塵マスク、防毒マスク、有機溶剤用の防毒マスク。

眼の保護具：ゴーグル型保護眼鏡、防災面

手の保護具：溶剤用手袋など不浸透性のもの

皮膚及び身体の保護具：必要に応じて保護前掛け、保護長靴などを使用する。半袖の作業着は避ける。

## 9. 物理的及び化学的性質

[内容液]

形状	：半固体	色	：淡褐色
臭い	：僅かな臭気	凝固点	：データなし
分解温度	：データなし	引火性	：200℃以上 (SETA)
発火点	：データなし		
爆発特性	：爆発限界：下限 1 容量% 上限 7 容量% (推定値)		
蒸気密度	：データなし	密度	：データなし
溶解性	：水に対する溶解性：不溶	オクタノール／水分配係数	：データなし
初留点	：データなし	滴点	：220℃以上

[噴射剤]

プロパン	ブタン	
外観	：無色気体	無色気体
比重	：0.501g/cm <sup>3</sup>	0.557～0.579g/cm <sup>3</sup> (20℃)
蒸気比重	：1.60	2.00～2.10 (空気=1)
蒸気1圧	：0.744MPa (20℃)	0.107～0.202MPa (20℃)
沸点	：-42.0℃	-0.5～-12℃
融点	：-187.69℃	-138.3～-159.4℃
引火点	：-104℃	-60～-81℃
発火点	：450℃	365～460℃
爆発限界	：2.1～9.5vol%	1.8～8.4vol%
溶解性	：水に不溶	水に不溶

## 10. 安定性及び反応性

[内容液]

安定性：通常の条件では安定。

反応性：強酸化剤との接触を避ける。

避けるべき条件：ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないよう注意する。

避けるべき材料：現在のところ有用な情報なし。

危険有害な分解生成物：現在のところ有用な情報なし。

その他：現在のところ有用な情報なし。

[噴射剤]

安定性・反応性：通常の取扱いにおいては安定である。

## 11. 有害性情報

[内容液]

急性毒性：経口 ラットLD<sub>50</sub> 5g/kg以上 (推定値)

局所効果：皮膚に対する腐食性はない。

長期間又は繰り返し皮膚、眼に接触した場合は刺激性の恐れがある。

感作性：現在のところ有用な情報なし。

慢性毒性・長期毒性：現在のところ有用な情報なし。

発がん性：基油：OSHAによる評価：IARCでは、グループ3に分類 (ヒトに対して発がん性について分類できない)

EUによる評価：発がん性であるとの表示は必要ない。

添加剤：現在のところ有用な情報なし。

生殖毒性：現在のところ有用な情報なし。

全身毒性（単回暴露）：ラットに鉱油を吸入暴露した試験により、肺に肉眼的、病理組織学的な急性変化（詳細不明）が用量依存的（1.51～5.05mg/L）に見られたとの記述がある。

全身毒性（反復暴露）：長年にわたり鉱油、あるいはそのミストの暴露を受けたヒトで、肺線維症、脂肪肺炎、肺の脂肪肉芽腫が報告されている。

吸引性呼吸有害性：GHSの危険有害性区分の判定基準である40℃で測定した場合の動粘性率が20.5mm<sup>2</sup>/s又はそれ以下の炭化水素に該当しない。

#### [噴射剤]

##### プロパン

急性毒性：10,000ppm／短期暴露何ら症状もなし。

100,000ppm／短期暴露数分吸入後にめまい。

刺激性：皮膚 長時間触れると炎症、湿疹を起こす。

目 粘膜等を刺激する。

その他：若干の麻醉性有り

##### ブタン

急性毒性：吸入 マウス LC<sub>50</sub> 680mg/l(約26%)2時間

ラット LC<sub>50</sub> 658mg/l(約26%)4時間

刺激性：皮膚 長時間触れると炎症、湿疹を起こす。

目 粘膜等を刺激する。

その他：若干の麻醉性有り

(注) LC<sub>50</sub>：半数致死濃度(ppm) LD<sub>50</sub>：半数致死量 (mg/kg)

## 1 2. 環境影響情報

内 容 液 生態毒性：現在のところ有用な情報なし。  
 残留性・分解性：現在のところ有用なデータなし  
 生体蓄積性：現在のところ有用なデータなし  
 土壤中の移動性：現在のところ有用なデータなし

噴 射 剤 現在のところ知見なし。

## 1 3. 廃棄上の注意

- ・必ず中身を使い切り、中身がないことを確認して廃棄する。
- ・廃棄は、各自治体の指示に従って行う。

## 1 4. 輸送上の注意

国 連 分 類：(クラス2. 1) 高圧ガス

国 連 番 号：1 9 5 0

注 意 事 項：取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。

容器からの漏れがないことを確認し、運搬中荷崩れで転倒、落下による容器の損傷が起こらないように十分な手段を講じる。

陸 上 輸 送：消防法、労働安全衛生法、他法令の輸送について定めるところに従う。

海 上 輸 送：船舶安全法に定めるところに従う。

航 空 輸 送：航空法に定めるところに従う。

---

## 15. 適用法令

高压ガス保安法：適用除外(液化ガス 可燃性ガス)

消 防 法：非危険物

労働安全衛生法：通知対象物質（鉱油、ブタン）

表示対象物質（該当なし）

P R T R 法：非該当

船 舶 安 全 法：危険物(高压ガス)

航 空 法：高压ガス

---

## 16. その他の情報

記載内容の取り扱い：

- ここに記載された情報は現時点で正確な物と考えられますが、危険・有害性の評価は必ずしも完全な物ではなく、新知見によって変わることがあります。

また、需要家の皆様の使用条件は弊社の管理外の事項となりますので、取り扱いには十分注意して下さい。

引 用 文 献：

- ・製品安全データシートの作成指針 日本化学工業協会
  - ・化学物質等法規制便覧 化学工業日報社
- その他として、各原料メーカーのMSDSに準拠する。